

宗内寺院紹介 84

山陰教区第2部

瑞光山ずいこうざん清水寺しみずでら

①



③



②



⑤



④

- ①根本堂（重要文化財） ②三重塔（県指定文化財）
 ③十一面観音立像（重要文化財） ④阿弥陀三尊像（重要文化財）
 ⑤阿弥陀如来坐像（重要文化財）

縁起によると、用明天皇二年（五八七）に尊隆上人が当地を遊行された際、清水山からの瑞光の原因を探るべく、山中へ入ります。すると、一人の老翁から観音菩薩像を託され、像が現れたそばから清水が湧き出しました。これにより、「瑞光山清水寺」と称するようになります。

また、推古天皇が瑞夢にて御本尊様の厄除けの靈験あらたかなることを感得したため、根本堂を造営して勅願寺となります。その後は退廃の時代を迎えますが、大同元年（八〇六）には盛縁上人の尽力により平城天皇の詔勅をうけ、根本堂・諸堂を再興し山陰随一の伽藍を誇るようになりました。

戦国時代になると、戦禍に巻き込まれ、根本堂を残してすべて灰燼に帰しましたが、毛利氏や松江歴代藩主の庇護を受けて復興し、今日に至ります。

山陰教区第2部
瑞光山 清水寺

住 所／〒692-0033 島根県安来市清水町528
 電話番号／0854-22-2151